

令和3年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	株式会社わらび座	
施 設 名	あきた芸術村・わらび劇場	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	26,864	(千円)
	公 演 事 業	22,456 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	4,408 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	わらび座創立70周年記念 特別公演	7月31日～8月3日	出演：三重野葵、椿千代、岡村雄三ほか 演出：栗城宏ほか	目標値	1,400
		わらび劇場		実績値	949
2	お正月特別公演 新春顔 見世&ミュージカル「北斎 マンガ」	1月1日～3日	出演：鈴木裕樹、遠藤浩子、鈴木潤子ほか 演出：マキノノゾミほか	目標値	900
		わらび劇場		実績値	447
3	冬の小劇場公演 ミュー ジカル「白瀬轟ものがた り」	11月27日～3月21日	出演：渡辺哲、丸山有子、久保田美宥ほか 演出：栗城宏ほか	目標値	3,600
		あきた芸術村・小劇場		実績値	2,793

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	うめもんけ	中止		目標値	450名
				実績値	
2	ナイトステージ	4月29日～8月14日	出演：山田愛子、瀬川舞巴、富樫美羽ほか	目標値	260名
		あきた芸術村・小劇場		実績値	260名
3	秋田県子どもサポートプログラム	9月24日	講師：渡辺哲、丸山有子、久保田美宥	目標値	400
		にかほ市立院内小学校		実績値	42
4	野外ステージ	5月1日	出演：小澤剛、椿千代、小野悦郎	目標値	200
		あきた芸術村内・野外ステージ		実績値	20

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>わらび座が社是としている言葉『衆人愛敬』は、能の大成者世阿弥の伝習書「風姿花伝」（花伝書）によるものです。</p> <p>～この芸とは衆人愛敬をもて一座建立の寿福とせり～</p> <p>多くの人々に愛され支持されることにわが一門繁栄の基礎がある。それを創立者の原太郎は次のように読み解きました。（著書「花伝書考」より抜粋）</p> <p>人々の心に訴えかけ、感動を呼び起こす芸の道は、人々に幸福をもたらし、齢を延べるものだ。</p> <p>同時に世に幸福をもたらすことはその道の者自身の喜びでもある。</p> <p>およそ芸能の道が、その生き難い世の中に、人間の一つの生きざまとして許されているのは、広い意味でそれが人の役に立っているからなのだ。</p> <p>公演事業はこれらのミッションに基づいて、基本的に広く地域の役に立つことを目指しています。</p> <p>また当劇場の環境として、秋田県は人口減少率全国ワースト1と大きな問題を抱えており、劇場のある仙北市もまもなく人口 25000 を切る過疎地域です。さらに少子高齢化も進んでおり、若者の市外、県外への流出も多いのが現状です。したがってその課題解決に繋がるように、公演事業、普及事業を行いました。しかしながら年度末の新型コロナウイルス感染拡大により、一部事業の中止を余儀なくされました。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<ul style="list-style-type: none">・ 質の高い舞台芸術作品の鑑賞、参加機会の増加による高齢者の生きがいづくりの促進 ⇒ 専属劇団わらび座を中心にプロのアーティストによる鑑賞型公演を実施。過疎地域においても質の高い舞台芸術鑑賞の機会をつくることができた。（公演事業 1、3）・ 地域文化を題材にした舞台芸術作品の上演による青少年のふるさと教育の推進 ⇒ 秋田の偉人である白瀬轟を題材にしたオリジナルミュージカルを上演。またあわせてゆかりの地域を訪問して「子どもサポートプログラム」を実施した。（公演事業 3、普及事業 3）・ 多様な舞台芸術公演の開催による交流人口の拡大 ⇒ 仙北市外からの観客も獲得できて、地域の交流人口拡大に貢献できた。宿泊、飲食、物販等の面でも間接的な部分で経済効果にも繋がった。（公演事業 1、2、普及事業 2、4）

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

《公演事業》

- ・ 数値目標 事業番号3 秋田県内小中学生来場者 720 名 (全体の 20%) ★目標①に該当
⇒実績 1,090 名 (全体の 39%)

【効果測定方法】 チケット販売、申込受付による人数の把握

- ・ 数値目標 事業番号1 県外来場者 420 名、事業番号2 県外来場者 270 名、事業番号3 県外来場者 1080 名 (いずれも全体の 30%) ★目標②に該当

⇒実績 事業番号1 164 名 (全体 17%)、事業番号2 40 名 (全体 9%)、事業番号3 229 名 (全体 8.2%)

【効果測定方法】 チケット販売、申込受付、来場者、参加向けのアンケートによる人数の把握 (統計による分析)

- ・ 数値目標 事業番号1 70 代以上の来場者 280 名 (全体の 20%)、事業番号3 70 代以上の来場者 720 名 (全体の 20%) ★目標③に該当

⇒実績 事業番号1 252 名 (全体 26%)、事業番号3 558 名 (全体 20%)

【効果測定方法】 来場者、参加向けのアンケートによる人数の把握 (統計による分析)

《普及事業》

- ・ 数値目標 事業番号3 にかほ市と連携して市内小中学校を対象にプロの俳優が訪問して演劇のワークショップ[®]を行う。(400 名目標) ★目標①に該当

⇒事業番号3 42 名 ※コロナの感染拡大により回数、人数を制限 【効果測定方法】 申込受付による人数の把握

- ・ 数値目標 事業番号1 市内来場者 90 名、事業番号2 市内来場者 52 名、事業番号4 市内来場者 40 名 (いずれも全体の 20%) ★目標②に該当

⇒事業番号1 中止、事業番号2 60 名、事業番号4 50 名 【効果測定方法】 チケット販売、申込受付による人数の把握

- ・ 数値目標 事業番号1 90 名、事業番号2 40 名 (いずれも全体の 20%) ★目標③に該当

⇒事業番号1 中止、事業番号2 20 名

【効果測定方法】 来場者、参加向けのアンケートによる人数の把握 (統計による分析)

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

事業期間としては、観光面で交流人口の見込める春（桜・新緑・ゴールデンウィーク）、夏（夏休み、夏祭り）、正月、農業従事者の最も動きやすい農閑期となる冬期間と事業の対象に応じて通年で計画。コロナ禍で中止となった事業以外は開催することができた。しかしながら入場者・参加者の目標はいずれも未達であったこともあり、with コロナを意識して期間も見直す必要もあると考えます。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

事業経費については、一部事業の中止の影響や、コロナ対策として密を回避するために稽古期間、制作期間の縮小を行った結果、当初計画より公演事業が66%減少、普及事業が92%減少となった。一方で収入もコロナ禍による事業中止や集客減の影響を受けて、当初計画より公演事業が39%減少、普及事業が67%減少となった。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

あきた芸術村・わらび劇場は、劇団わらび座を専属団体として有しており、プロの俳優、創作スタッフ、舞台スタッフの常駐している点が大きなメリットです。わらび座には民族歌舞団としての歴史があり、日本各地の民族芸能の素養をベースに俳優を育成しているので、日本独自の歌、踊り、演奏を取り入れたオリジナルミュージカルの制作上演や各種ワークショップ、アウトリーチへの対応も可能にしています。さらに劇場を中心にホテル、料飲施設、観光施設からなる「あきた芸術村」をホームベースとしているので、教育旅行の誘致をはじめ、環境面でも地域との連携を行う上での優位性があります。

わらび座は1951年創立。約35名の専属俳優、そのほか約80名の創作、舞台、制作、広報、営業、マネジメントスタッフを抱えるプロ劇団です。当劇場での上演、全国ツアー公演をあわせて年間上演回数は800回にのぼります。当劇場の芸術監督で劇団の作品創造の柱でもある栗城宏は、2014年の第29回国民文化祭あきたの開会式、閉会式で演出を務め、それらの質の高い仕事が認められて、2015年2月には「秋田県芸術選奨」を受賞しています。本事業においても公演事業で演出（一部脚本も含む）を担当、質の高い公演へ評価をいただくと共に、マスメディアへの露出の面でも貢献しています。そのほか劇団わらび座以外でも、事業2のミュージカルの脚本演出にはマキノノゾミ氏を起用し、作品のクオリティを高めることに尽力しました。

東北のリージョナルシアターである当劇場としては、東北ゆかりの歴史・文化に基づいたオリジナルミュージカルの創作を通して、地域に貢献していくことが求められています。演劇人口の集中する都市部とは違う過疎地において、観光客を新規獲得することにより、観客層の拡大にも貢献できました。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

公演事業1では、令和3年8月1日の秋田魁新報に記事掲載。公演を鑑賞されたお客様の声として「新型コロナウイルスの影響で各地のお祭りがない中、元気をもたらした。わらび座は秋田の宝。」との評価をいただきました。

公演事業3では、令和4年3月22日の秋田魁新報に記事掲載。作品題材の白瀬轟に憧れて冒険家になった阿部雅龍氏の南極探検と絡めて、白瀬の意思が現在にも息づいていることを伝えられた。

普及事業3では、令和3年9月28日の秋田魁新報に記事掲載。子どもたちが地域の偉人である白瀬轟をもとにしたワークショップを行い、「与えられたテーマに沿って、想像力を働かせながら伸び伸びと体を動かした」と掲載。

2021年(令和3年)8月1日 日曜日 秋田 ぎき が け

わらび座70周年記念特別公演

歌や太鼓、観客魅了



過去の作品のミュージカルナンバーを歌い上げた「スペシャル・ガラ・コンサート」

民府若館による第2部の歌舞ステージ

サポート制作 わらび座の会 会員を募集中

2021年(令和3年)8月1日 日曜日 秋田 ぎき が け

2022年(令和4年)3月22日 火曜日 秋田 ぎき が け

わらび座ミュージカル 千秋楽

冒険家 阿部さんも観劇

南極探検家 白瀬轟と家族テーマ



披露の熱あふいた観劇人

阿部さん(左)と白瀬轟(右)の家族テーマ

2022年(令和4年)3月22日 火曜日 秋田 ぎき が け

2021年(令和3年)9月28日 火曜日 秋田 ぎき が け

劇団わらび座主催のワークショップ

「南極」体で表すと?



児童は、流水やペンギン、南極観測船になりきって「南極」を表現した

にかほ市 児童、テーマに沿い演技



目の前の新聞になりきって体を動かす児童

2021年(令和3年)9月28日 火曜日 秋田 ぎき が け

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

・地域に、社会に貢献する劇場として事業を実践しております。その主体となる専属劇団のわらび座については、継続的な人材の育成、多岐にわたる事業に対応する人事配置を実現する為に、俳優、制作スタッフ、舞台スタッフの正規雇用に力を入れております。対象となる劇団所属メンバー78名のうち、正規雇用は74名（俳優35名、舞台スタッフ28名、制作スタッフ11名）と正規雇用率は95%にのぼります。人口減少の顕著な過疎地域に位置する当劇場においては、人材確保は重要な課題で、通年での業務の機会確保は雇用の面において大きな意味を持っています。そして将来的な人材育成のために2年間のカリキュラムからなる「わらび座養成所」を設置し、専属俳優としての正規雇用のルートを確保しています。

・安定的な収益基盤の確保、そして地域貢献を目的に企業、団体、個人からの協賛金を募っています。2021年には秋田商工会議所の三浦会頭を会長とする支援協議会が発足。秋田ゆかりの著名人、財界人の方が役員となり、事業の普及啓発や協賛金獲得のサポートを行っていただいています。

・毎年、秋田大学との連携事業として教員免許更新の講習会を開催しています。また過去には栗城宏が非常勤講師として採用された実績もあります。